屋久島の未来

屋久島町立中央中学校
二年
小倉恭弥

　ぼくが大川の滝に行ったときは、中学校一年生の自然体験学習でした。初めて見る滝だったので行くまではとてもわくわくしていました。

　いざ目の前で見た大川の滝はとても大きく高い場所から落ちる水は大きな音をたてていました。その音は屋久島の偉大さを彷彿とさせました。その迫力に驚かされました。

「凄い迫力だ」

とつぶやきました。その時は一番近い場所は大きな石がたくさんあり、まるで水が岩を砕いたようにみえました。友達が何か話しかけてきましたが、水の音が大きく友達の声があまり聞こえませんでした。

そしたら僕は

「学校よりも大きいね」

と言ったら

「徳洲会病院くらいじゃない」

20 × 20

「いやいや徳洲会病院よりも大きいって」

「結局大川の滝って何mなの？」

「大川の滝は八八mだよ」

と滝の大きさについて話しました。そんな話をしながら、僕たちは流れ落ちる水をしばらく眺めていました。その間は、余計なことは考えず、無心になれました。

屋久島は自然がとても豊かです。だから鹿児島から帰ってきたとき空気がとても気持ちよく水も美味しいです。海や川もとても綺麗です。僕はこの自然を守っていきたいです。

僕は砂浜のゴミ拾いしたことがあります。一時間ほどゴミ拾いをしました。海にはかごやペットボトル、マイクロプラスチックなどがたくさんありました。それらのごみを圧縮機で押しつぶし、魚のキーホルダーを作りました。そのキーホルダーは海のゴミから作られた新たな人工物となりました。僕はたくさんのキーホルダーをごみから作り、知り合いの人たちに配りました。

「これね、ゴミから作ったキーホルダーなんだよ。」

「えー、ごみから作ったんだ。」

と、とても驚いていました。他にもコースターなども作りました。

また、町民文化祭で海のゴミについて発表しました。その発表では、海にあるごみの量にについて発表しました。僕はその発表で海のごみで苦しんでいる魚のことについて発表してきていろんな人に見せたりしました。見せました。実際にマイクロプラスチックを持った人の感想は

「とても小さくなっていて信じられない。」

「これを魚が間違えて食べたら大変だね。」

「この小さな物からキーホルダーを作るなんてすばらしい。」

と、驚いていました。他にも食べ物がありシチューと肉まんはとてもおいしかったです。

友達にも勧めました。渡したときにこういわれました。

20 × 20

「ありがとう。うんとてもおいしいね。」

と言われました。他にも大根から作った食べ物もあり、そしたら店主の人が

「無料であげるから宣伝してよ！」

と言われて僕は大きな声で

「ここに美味しい食べ物があるよ、とてもやすいよ！」

と、いいました。そしたら急に僕は知りませんが有名なバントの人たちがきて一番前で演奏し始めて最初は驚いていましたがすぐにみんなで楽しみました。そしたら放送で

「前で一緒にやりたい人！」

と言ったら色々人たちが前で踊り始めてとても面白かったです。

このように屋久島には色々なきれいな場所川や海がとてもあり自然の島との言われ自然遺産にの登録されています。僕はこれからも屋久島を守っていきたいです。

20 × 20